

# 会 議 録

|                    |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |     |
|--------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|
| 会議名<br>(審議会等名)     |     | 令和 7 年度 第 1 回相模原市発達障害者支援地域協議会                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |     |
| 事務局<br>(担当課)       |     | 陽光園 療育相談室<br>電話 0 4 2 - 7 5 6 - 8 4 3 5 (直通)                                                                                                                                                                                                                                                        |      |     |
| 開催日時               |     | 令和 7 年 7 月 2 4 日 (木) 1 5 時 0 0 分～1 7 時 0 0 分                                                                                                                                                                                                                                                        |      |     |
| 開催場所               |     | 相模原市立療育センター陽光園 マルチホール                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |     |
| 出席者                | 委 員 | 1 9 人 (別紙のとおり)                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |     |
|                    | その他 | 3 人 (川畑学齢期部会長、地域支援マネージャー 2 名)                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |     |
|                    | 事務局 | 1 1 人<br>(陽光園所長、発達障害支援センター所長、療育相談室長、他 8 人)                                                                                                                                                                                                                                                          |      |     |
| 公開の可否              |     | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可                                                                                                                                                                                                     | 傍聴者数 | 0 人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |     |
| 会議次第               |     | 1 令和 7 年度発達障害者支援地域協議会について<br>2 議題<br>(1) 発達障害支援事業について<br>ア 療育相談室<br>(ア) 令和 6 年度実績について<br>(イ) 令和 7 年度事業計画について<br>イ 発達障害支援センター<br>(ア) 令和 6 年度実績について<br>(イ) 令和 7 年度事業計画について<br>(2) 合同部会の報告<br>ア Q-S A C C S の概要説明<br>イ 合同部会の報告<br>3 その他<br>(1) 光が丘地区公共施設再編について<br>(2) 各委員からお知らせ<br>5 歳児健診について (こども家庭課) |      |     |

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

- 1 令和7年度発達障害者支援地域協議会について（資料1）  
（事務局より資料に基づき説明を行った。）

### 2 議題

会長の進行により議事が進められた

#### （1）市の発達障害支援事業について

ア療育相談室（資料2～資料2-4）

（ア）令和6年度実績について

（イ）令和7年度事業計画について

（千谷委員）巡回訪問について質問したい。保育園は、保護者の同意をもらい、療育相談班や療育相談室から特定の子の助言をもらっているという理解で良いか。

（事務局）巡回訪問は機関支援として行っている。保護者の同意はもらわず、個人情報扱わずに行っている。保育所等訪問事業とは異なる。

（千谷委員）園の先生にはそのことが十分に伝わっていないように感じる。園の先生は同意をもらっていると話している。周知はどのように行っているのか。

（事務局）事前に説明は行っているが、保育所等訪問支援事業等で支援に入る事業所もあるため、園の先生は混同しているのかもしれない。改めて説明して混乱のないようにしていきたい。

（蔵並委員）支援保育コーディネーター研修で巡回訪問について説明している。保護者の同意は不要と周知している。保育支援事業における支援保育制度で保護者の同意を得ることがあるため、それと混同することもあるのかもしれない。改めて説明をしていきたいと思う。

（千谷委員）園の先生の中で混乱があるのだと感じた。療育相談室や保育課、それぞれから個々の事業について説明があるため分かりづらくなるのかもしれない。支援の全体像を示せると分かりやすくなるかもしれない。

（富川副会長）医師会では保育園での健診マニュアルを整備し、園の先生が発達の特性に気づきやすい健診マニュアルを作成している。子どもの特性に気づけることで、園医が健診に来た際に相談し、巡回訪問にあげる、療育相談班への相談につながる等の流れにつながっていく。園医の中には療育相談班や療育のことを理解していない方もまだいるようなので周知をしていきたい。

イ発達障害支援センター（資料3～資料3-3）

(ア) 令和6年度実績について

(イ) 令和7年度事業計画について

(日戸会長) 啓発活動が発展、充実してきたように感じる。

(事務局) 一般の方に興味をもってもらうことは難しいと感じている。毎年、試行錯誤し工夫しながら実施をしているが、啓発には継続していくことが大事だと考えている。委員の方からご意見をいただければ参考にしていきたい。

(柳場委員) 発達障害は、自閉症、ADHD や学習障害の要素が入っているので、一般の方が理解するのは非常に難しい。発達障害について伝える、人を育てていくにあたっては、人それぞれの障害特性を理解してもらえたらありがたい。

(日戸会長) インクルーシブ・プログラム開発事業について、立ち上げ当初から連携協議会委員である西村委員は意見等はあるか。

(西村委員) 風の谷として立ち上げ当初から関わらせてもらっている。インクルーシブ・プログラム開発事業では、発達障害の当事者の方だけではなく、相模女子大学の学生さんも一緒に学習を継続するという環境を作っていることが、重要なポイントだと感じている。日本では、成人期の発達障害のある方が、学習を継続する機会は足りていない。本協議会の中でも共有しながら、インクルーシブ・プログラム開発事業を継続していけると良いと思う。

(日戸会長) 文部科学省から相模原市が委託を受け、相模女子大学が相模原市から再委託を受けている。文部科学省からは、大学と行政と一緒にやっているという点を高く評価されている。相模原市の重要な取組の一つとして全国に発信していけると良いと考えている。

(富川副会長) 先ほどの啓発動画は良かったが、今の若者はショート動画を好むため、そういうものもあると良いと感じた。

## (2) 合同部会の報告(資料4～資料4-1)

ア Q-SACCS の概要説明

イ 合同部会の報告

(西村委員) 今までは、乳幼児期、学齢期、成人期それぞれで課題などを検討しており、乳幼児期から成人期までのつながりが見えにくかった。Q-SACCS を使って乳幼児期から成人期までの支援を視覚化できたことが、合同部会の最大の効果だと感じている。これまで、乳幼児期等にどんな支援を受けているのか分からなかったが、実際に支援者の話を聞き、イメージができた。乳幼児期に関わっていた支援者が、成人期の生活を追えるようになっていくと、さらに良いと感じる。「こういう選択をすると、こういう将来につながっていく」、

ということを共有できることが合同部会の意義だと感じた。

(日戸会長) Q-SACCS (資料4-1) の乳幼児期に赤字が多くなっているのはなぜか。

(事務局) 赤と緑、2色になっている部分がある。事業化できているところと課題になっているところ、両方があるという意味で2色になっているため、赤字が多くなっている。

(富川副会長) 一番の課題は療育の質の担保だと考えている。保護者への対応がしっかりしている事業所もあれば、きちんとしたプログラムが組まれていない事業所もある。

(千谷委員) 質の担保は本当に大切だと考えている。一方で、就学移行支援のつなぐMAPの学校への提出が12%程度だったようだが、就学前のお子さんの12%をフォローできるだけの事業所の数がない。現状、質の担保でも受け入れられる事業所の数でも難しい状態。

(西内委員) 学校へつなぐサポート(就学移行支援)を利用した子が12%程度ということであれば、小学校に上がった時の発達障害のある子の割合と同じぐらいの割合になっている。

(富川副会長) 保育園では健診マニュアルを使って発達が気になる子をスクリーニングできるようなシステムを作っているが、幼稚園では健診マニュアルを使っていないため、幼稚園に所属する子のスクリーニングはできていない。幼稚園、保育園いずれにも通っていない子もスクリーニングできていない。

(日戸会長) 学齢期から成人期のつなぎについて、ハローワーク鹿子木委員から意見等はあるか。

(鹿子木委員) 学生が直接相談にくることはなかなかないので、学校に出張するなどして、学生の相談を積極的に受けている。今年も職業自立のためのセミナーを予定しているため、課題のあるお子さんを持つ保護者などへの周知をお願いしたい。

(日戸会長) 県立の高校等をドロップアウトして通信制の高校等に通い始めた子たちがその後どうなっているのかが見えにくく、課題だと感じている。

(神谷委員) 通信制高校に通う子は多様。手帳を持っている子は支援学校などにつながることが多い。一方で、通信制高校は、学校に通えず行き場もなく利用している子や、能力があって手帳の対象外のため利用している子など、通っている子の幅が広い。バイトをできるかが一つの指標だと感じており、バイトができると福祉の制度を利用せず進学したり、就労につながったりすることがあるが、バイトが難しい子はつながる先がなく、医療からも離れられないことが多い。支援につながることを難しい子も多い。保護者や本人が学校の先生、療育などでしっかりと見てもらった、相談して良かったという体験を持っている

と、支援につながりやすいが、そういう経験がなかった親子は支援につながる  
ことが難しいように感じる。中学生くらいになると、保護者に一步下がって  
もらって、本人が主体になっていくということを意識して関わるようにしている。  
保護者と本人の考え方などにはズレがあるので、そのズレが受け入れられる  
ように修正していけたらいいと感じている。

(南湖委員) 子どもの意思決定、意思表示が大切だと言われるが、それがどこ  
まで可能かという議論にもなっている。小さい頃から、意思決定の機会を作  
っていかないといけない。意思決定の経験がないまま、意思決定をする時期  
を迎えてしまうことを危惧している。保護者が決めることが多くても、子  
どもはどう思っているのか、子どもにとって最善なのかを考えていかないと  
いけない。小さい頃から、親子ともに、そういう経験をしていくことが、成  
人期につながっていくと考える。

(千谷委員) Q-SACCSを作って良かったと感じている。乳幼児期、レベル  
2のところは数的にひっ迫している。受給者証を持っていたとしても相談支  
援事業所につながっていない方は58%いる。相談支援事業所の数が足りて  
いない。しかし、レベル2をすぐに充実させることは現実的に難しい。学校  
現場もひっ迫していて、担任の先生がMAPをじっくり読んで対応することは  
難しいのではないかと感じている。発達障害のあるお子さんたちを受け入  
れる現場としての機能を考えた時、機能強化が一番必要なのはレベル1だ  
と思う。園の先生たちは発達障害をもっている子の対応で大変な思いをし  
ていて、子どもたちも苦しい思いをしている。支えるべきはレベル1の  
ところだと感じている。

(日戸会長) 今すぐに支援機関を増やす、支援者を増やすということは  
難しい。支援コーディネーターの機能を強化することで、保育の質を  
上げる、必要に応じて専門機関につなぐ、ということも考えていても  
良いと感じた。Q-SACCSに基づき有意義な話し合いができた。今後は、  
幼児期から学齢期に向けて、保護者主体から本人主体の支援にしていく  
仕組みを考えること、レベル1の地域のインクルージョンを強化する  
方法を考えること、このあたりをテーマにしていけると良いと感じた。

(富川副会長) 本日初めて参加して、相模原はすごく進んでいると感じた。  
Q-SACCSで課題が見える化しているのは良い。課題が見えれば、解決  
できることもある。医療が担う役割、社会福祉が担う役割があり、医療  
は投薬などが必要なお子さん、投薬以外のところは社会で見えていか  
なくてはならないと考えている。発達特性のある子で医療まで必要  
な子は少ない。理想としては、発達特性のある子を受け入れていく  
社会になると良いと考えている。相模原市は、発達の特性のある  
お子さんに優しい自治体になってほしいと思う。

### 3 その他

#### (1) 光が丘地区公共施設再編について

青葉小学校の閉校に伴い、陽光園、中央子育て支援センター療育相談班、障害者更生相談所、陽光台保育園、光が丘公民館、児童館が青葉小学校跡地に移転する予定。令和12年移転の方向で準備を進めている。

#### (2) 各委員からお知らせ

##### ア 5歳児健診について（こども家庭課小山総括副主幹）

来年度から実施するために準備を進めている。子どもの発達特性を早期に見し、特性に合わせた支援を行うことを目的として、年中年齢で実施する方向で検討している。方法は、SDQを使って発達の特性が疑われるお子さんを抽出し、個別に医療機関で健診を受けてもらう形を検討している。相談窓口は、子育て支援センター療育相談班で調整をしている。年中年齢で発達の特性に気付いてもらい、就学相談や就学移行支援へスムーズにつなげていく体制を構築していきたいと考えている。

#### (3) その他

今後のスケジュールについてのお知らせ

- ・オンライン研修 令和7年9月4日（木）
- ・第2回協議会 令和7年11月12日（水）15時から陽光園マルチホールにて

以 上

令和7年度 相模原市発達障害者支援地域協議会委員出欠席名簿

|    | 氏 名     | 所 属                   | 備 考  | 出欠席 |
|----|---------|-----------------------|------|-----|
| 1  | 日戸 由刈   | 相模女子大学 人間心理学科         | 会長   | 出席  |
| 2  | 富川 盛光   | 一般社団法人相模原市医師会         | 副会長  | 出席  |
| 3  | 神谷 俊介   | 北里大学病院 児童精神科医         |      | 出席  |
| 4  | 柳場 秀雄   | 相模原市自閉症児・者親の会         |      | 出席  |
| 5  | 宮原 美奈   | NPO 法人 れんきょう          |      | 出席  |
| 6  | 西村 三郎   | 社会福祉法人風の谷             |      | 出席  |
| 7  | 小山 創    | 相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター |      | 出席  |
| 8  | 棚橋 由衣   | 合同会社 障がい総合支援 ひかり      |      | 欠席  |
| 9  | 千谷 史子   | NPO法人ワンダートンネル         |      | 出席  |
| 10 | 南湖 浩一郎  | 県央福祉会 児童発達支援センターいっぽ   |      | 出席  |
| 11 | 榎本 幸良   | 障害者支援センター松が丘園 地域支援課   |      | 出席  |
| 12 | 鹿子木 ひとみ | 相模原公共職業安定所            |      | 出席  |
| 13 | 福本 創一朗  | 相模原警察署生活安全第一課         |      | 出席  |
| 14 | 藤原 英明   | 神奈川県立津久井支援学校          |      | 欠席  |
| 15 | 菅原 勝    | 学校教育課                 |      | 出席  |
| 16 | 西内 一裕   | 支援教育課                 |      | 出席  |
| 17 | 奈良 美幸   | 高齢・障害者福祉課             |      | 欠席  |
| 18 | 草野 明朗   | 精神保健福祉センター            |      | 欠席  |
| 19 | 井上 康臣   | 緑高齢・障害者相談課            |      | 出席  |
| 20 | 風間 大祐   | 保育課                   | 代理出席 | 出席  |
| 21 | 中嶋 雅樹   | こども家庭課                | 代理出席 | 出席  |
| 22 | 小山 佐恵   | 南子育て支援センター            |      | 出席  |
| 23 | 馬場 貴孝   | 児童相談所                 |      | 出席  |